

# 報告書抄録

ふりがな	せんずいやま・ふじやついせきだいはちじゅういちちてんはつちつちようさほうこくしょ							
書名	泉水山・富士谷遺跡第81地点発掘調査報告書							
副書名								
シリーズ名	朝霞市埋蔵文化財発掘調査報告書							
シリーズ番号	第28集							
編著者名	野澤 均・照林敏郎・佐々木藤雄・小野麻人							
編集機関	朝霞市教育委員会(文化財課)							
所在地	〒351-0007 埼玉県朝霞市岡2-7-22						TEL048-463-2927	
発行年月日	西暦2008年(平成20年)12月26日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
		市町村	遺跡番号					
せんずいやま・ふじやつ 泉水山・富士谷 遺跡第81地点	さいたまけんあさかし 埼玉県朝霞市 せんずい ちょうめ 泉水三丁目 16-1	11027	008-020	35度 48分 38秒	139度 34分 51秒	2008年 6月16日 ～ 9月26日	3,925.97	小学校 改築
所収遺跡名		種別	主な時代	主な遺構		主な遺物	特記事項	
泉水山・富士谷遺跡 第81地点		集落跡	縄文時代 奈良・平安 時代 中・近世	竪穴状遺構5基 土坑11基 小ピット20数個 住居跡1軒 溝4条 小ピット多数		縄文土器 石器 土師器 須恵器 石製品 土師質土器 瓦質土器 陶磁器 板碑	早期前葉を中心とする竪穴状遺構群と陥し穴を含む土坑群分布。早期前葉擦糸文系土器を主体に前・中・後・晩期土器。奈良時代の住居跡単独検出。カマド内に支脚に転用されたと思われる台石。板碑と15～16世紀の播鉢。近世の土地区画溝と推定される溝。	
要約		<p>泉水山・富士谷遺跡は朝霞市を代表する大規模複合遺跡として知られており、これまでに行われた合計80地点にのぼる発掘調査によって旧石器時代から縄文、弥生、古墳、奈良・平安、中世、近世の各時期に至る豊富な遺構・遺物が確認されている。今回、調査が実施された第81地点は本遺跡の北西端に位置しており、隣接する第63地点では、旧石器時代の石器ブロックや礫群、縄文時代早期を中心とする竪穴状遺構や炉穴、土坑群などの分布が確認されている。第81地点では旧石器時代の遺構・遺物は未発見に終わったが、縄文時代早期前葉を中心とする竪穴状遺構や土坑群が検出され、当該期の集落が全体として弧状を描くような分布の姿を2つの地点をまたいで示していたことが注目される。</p> <p>後続する時代の例としては、単独分布する奈良時代の住居跡や近世の土地区画溝と推定される4条の溝が確認されている。縄文早期例との差異は明らかであり、共存する遺構もごく限られている。</p>						